

光受寺通信

NO.200

R7.9.1 発行
発行元 光受寺



200号

記念となりました

発行を始めたのは還暦を迎えた年の9月からでした。その後は時々の発行でしたが、2011年からは毎月の発行となり、気づけば今月で200号となりました。(ネット掲載は2011)

お寺をより身近に感じていただくために、お寺で何が行われているのか、それにはどんな意味があるのか、浄土真宗の教えはどういう教えなのか、住職はどんな思い、考えでお寺に携わっているのか等を主な内容として、「門徒の記事や情報を織り交ぜながらの200号となりました。これは光受寺の歴史の記録であり、その歴史に「門徒さんと住職がどう関わって来たかという思いと、実践の記録」でもあります。

先日、ある「門徒さんのお宅での」法事の折に、今月号の新聞をご覧になった親族の男性が「来月号で200号になるのですね」と気づいてくださいました。自分では分かっているつもりでしたが、改めて気づかされたような不思議な感覚にもなり、続けてこられたことへのおかげさまを噛みしめたことでした。

当家の奥様からは、「今までいただいた分については全部しまつてありますよ」と、その全てを皆さんに披露してくださいました。私には今までに感じたことのない特別な思いが湧きおこり、このこと一つで頑張れるような、そんな力をいただけただように思いました。多くの人に育てられ、助けられての200号であることを改めて実感できた出来事でした。



約200部の新聞。
丁寧に保存されていました。

臼井博彦さんの奥様が毎月きちんと保存してくださっていた新聞です。

今回のことは、言葉以上に伝わる大切なものをいただけたように思い、今後の光受寺教化活動を続けていく上で大きな力となりました。
本当にありがとうございました

夏

俳句のご紹介

一ツ木 岩田 佳子

俳句に出会ってからの年月は、ずいぶん長く経ちました。おかげさまで花や鳥など自然の風景に心が向くようになりましたと、岩田さん。以前にも投句いただきましたが、今回は「夏」がテーマの句になっています。

代々の屋号染め抜く夏暖簾

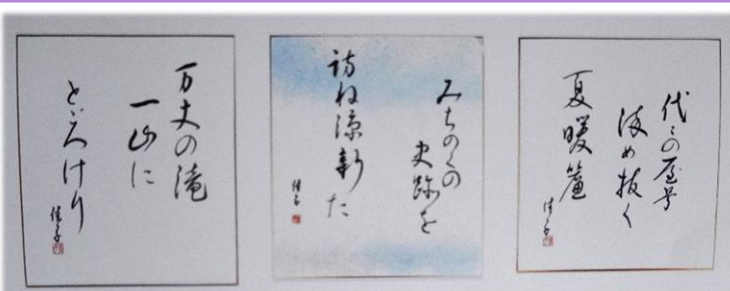
古くからの店の入り口に夏暖簾が書けてある。その暖簾には代々の屋号が染め抜かれています。(岐島屋)

みちのくの史跡を訪ね涼新た

東北へ旅行した時、とても涼しかったことを思い出し、その時の感動を句にしました。

万丈の滝一山にとびつるけり

非常に高い所から滝が落ち、その音が一山に鳴り響いている様子を句にしました。



方言

「もやい」

共同い・一緒い

「もやい」とは九州方面の方言ですが、あの熊本黒川温泉が「入浴手形」の発行で一躍有名となり、2009年には温泉地としては異例のミシュラン・グリーンガイド・ジャポンで二つ星を獲得しました。その根底には地域の「もやい」の心があつたからこそと言われ、「黒川温泉」旅館の思いで地域が互いに助け合い心をつにいた結果だと言われています。しかし、この「もやい」は私の子供のころによく使った言葉であると気づかれました。「もやい」を「もやー」とか「もえー」とか言つて、一つの物や事を仲良く分け合ひ使つたりする時だつたと思います。自分だけでは生きられないことの教訓を言っているのだと思ひます。

先月号に掲載しました「詩」についての、感想をお寄せいただきました。ファックスで届いたものもありますが、直接お聞かせいただいたものもあります。共通していたのは衝撃的な詩であるということでした。

一筆啓上

極楽とんぼさん

「一番好きなもの 岡本理恵 18歳」を読んでびつくりしました。

読まれていることから、つくり現在の世界の様子を上手く詠まれているなあと感心しました。読み終わつて上段の掲載年度が1985年とあつたので、早速当時の世界の出来事を調べてみると、日本では東北新幹線の開業、日航ジャンボ機墜落事故等が大きな事故大きな出来事でしたが、世界的にはアメリカ大統領にレーガン氏が2期目に就任したぐらいで、地球のどこにも戦争のない平和な時代でした。

ここ23年の間に、ウクライナではドローンによる無差別攻撃で一般市民に犠牲者がで、かたやガザでは戦闘によつて見るに堪えないやせこけた嬰兒の姿をTVニュースで見ると、身近には大きな事件は起きていません。世界では、それらの原因は、ウクライナはプーチンの「欲」、ガザはイスラエルがイラクかどちらかの「欲」。「欲」といえばそれに加えるようにアメリカのトランプ大統領は「アメリカ第一」と言つて、関税問題で世界の経済を混乱させています。人間の悲しい性そのものの一つ「欲」の現れです。この詩はこんな今の時代を詠まれたそのものと受け取れます。

偉そうなことを言つようですが、人間欲がなければ進歩も成長もないと思います。「欲」を出すのも必要ですが、然し与えられた人生欲もほぼほぼいふ思つようになつた齡の一人の独り言として一筆啓上。

その他の「意見」感想

○戦争が好きであるとか、人が死んでいく姿にぞくぞくするほど楽しくなるとか、次々に死んでいるかと思つと心がゆつたりするとか思つこの少女の思いは全く理解できません。でもこの少女はそんなことを思つ自分に同時に悲鳴を上げ、助けを求めています。そんな自分に気づいたこの少女の、その後の生き方がとても気になっています。

S.Kさん

○ここまでのことは思わないのですが、自分にも人の不幸を願うような醜さを持っていることに気づかされたことは、何度かあつたように思います。

M.Mさん

○この女性は今頃どんな生き方をされているのでしょうか。今の世界の戦争悲惨さを見ているとも、同じ思いを抱かれるのでしょうか。

O.Tさん

お知らせ

(秋分の日)

○特別永代経……9月23日(火) 11時より12時まで

(一般参詣はありません)

○光受寺学習会……9月20日(土) 中止

(岐阜教区の行事と重なつたため。)

○お寺サロンはお休みです。学習会サロン10月より再開。